

子どもたちのために 霊友会手づくりマスク寄贈

4月21日、霊友会弥勒山（局長 浅見和明さん）より、手づくりマスク700枚が寄贈されました。職員や地元有志で作成された3種類のマスクは、自粛期間中の子どもたちに配布されました。顔の大きさによって、耳にかけるゴムの長さが調節できるように工夫されています。



新型コロナウイルス対策費 河津建設100万円寄付

5月1日、河津建設（代表取締役 河津市元さん）より、新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている東伊豆町へと、100万円が寄付されました。感染予防対策費や休業支援費等、有効的に使わせていただきます。



みんなのために、自分のために Let's go 献血！

4月27日、東伊豆町役場1階玄関前にて献血が行われました。受付→問診→血液型事前検査→採血の順番で、親切に案内していただけますので、初めての方でも心配いりません。尊い命を救うために勇気を持って一歩踏み出してみましょう。次回は7月28日（火）に予定しておりますので、皆さん是非お越しください。

町のためにマスク2,000枚 東伊豆ライオンズクラブ

4月30日、東伊豆ライオンズクラブ（会長 川上安弘さん）より、使い捨てマスク2,000枚が寄贈されました。町では、感染リスクの高い第一線で働く医療従事者、介護事業関係者のために使用させていただきます。



マスク3,000枚を小中学生へ 東風会・東志会・第8分団

5月10日、稲取東区の東風会（会長 山田二茂さん）、東志会（若者頭 千島英一さん）、第8分団（分団長 山田徹さん）より、使い捨てマスク3,000枚が寄贈され、3団体の意向により、地元の小中学生に配付されました。



駿東伊豆消防本部東伊豆消防署



トヨタハイメデック4WD
排気量 2,700cc 乗車定員7人

高規格救急自動車
が
更新
配備
され
まし
た！

高規格救急自動車とは、救急救命士等が乗車し活動しやすいように車内スペースが拡大され、高度な救急資機材が積載されています。



『救急車の適正利用』 についてご協力を！

救急出動件数が年々増加しています。東伊豆消防署に配置されている救急車は1台と限られ、この救急車が出動すると次は遠方の救急車が出動します。

救急要請が重なると、救急車が不足してしまう緊急性の高い重篤な方への対応が遅れてしまうこともあります。緊急性がなく自分で病院にいける場合は救急車以外の交通機関等を利用して下さい。

救急車が本当に必要とする人のために救急車の適正な利用についてご理解とご協力をお願いします。

『駿東伊豆消防本部第3方面水難救助隊』 運用開始



今年4月1日に第3方面水難救助隊が発足しました。水難救助隊は伊東消防署八幡野分署に配置され、水難事故が発生すると潜水器具等を活用し救助活動を行い、7月からは潜水作業にも対応します。

現在、東伊豆消防署、海上保安庁及び地元ダイバー等各関係機関と一丸となり厳しい訓練を繰り返して行っています。